

河内小だより

平成23年4月28日 4

4月21日(木)の午後2時から、本年度も「河内地区安心・安全なまちづくり大会」が、河内小学校のグラウンドで開催されました。子どもと地域の安全を願って、河内地区安心・安全なまちづくりネットワークの防犯関係の28団体と6機関が、防犯意識を高め、犯罪の起こりにくい環境づくりを推進する目的で行われるもので、今回で3回目となります。

地域の皆様が大量お集まりの中、河内小学校児童も集合して大会が始まりました。

まず、河内地区防犯組合理長であり、社会福祉協議会会長でもある杉田精司さんが開会のあいさつをされ、佐伯区役所区政振興課の大塚康弘課長補佐に来賓あいさつをしていただきました。同じく来賓の区政振興課の糸永博一主幹と広島市教育委員会の櫛田篤二地域学校安全指導員も紹介されました。

次に、前日、北校舎の屋上と南校舎そばのイチョウの大木にロープを張って取り付けられた、河内地区の皆様への寄付による30近くの鯉のぼりと吹き流しや、8つの団体の標語が書かれた防犯のぼりが、22名の2年生児童によって一気に掲揚されました。鯉のぼりや防犯のぼりは、青空を背にして勢いよく泳ぎました。

続いて、防犯のぼりを作られた8団体から、防犯の標語についての思いが発表されました。8団体の標語は次のとおりです。

「河内地区安心安全なまちづくり」	防犯組合
「地域の絆・人の結び」	町内会連合会
「みんなで守ろう わがまちを」	防犯パトロールチーム
「守ろう いかのおすし」	PTA
「明るいあいさつ安全なまち」	女性会
「あいさつで広がる笑顔地域の輪」	民生児童委員
「みんなでつなごう心の手」	青少年指導員
「危ないときは大声で」	三和会

それから、河内小学校児童を代表して、6年生の藤江真央さんが次のような「安心・安全への願い」を発表しました。

今日は、私たち河内小学校の子どもたちのために、とても盛大なセレモニーを企画していただき、本当にありがとうございます。

いつも地域の方々が見守ってくださっているおかげで、私たちは、毎日、とても安心して学校に通うことができます。たくさんの方々に、いつもお世話になっていることを、心から感謝したいと思います。

河内小学校では、待合ステーションを決めて、登下校の班を作っています。いつも地域の方々に頼るだけではなく、私たちの方も、できるだけ、たくさんの人と一緒に登下校するなど、安全に気を付けながら、毎日を過ごして行きたいと思います。

この4月から、私たちは、1つずつ学年が上がり、新しい1年生も入学してきました。

これからも、私たち河内小学校の子どもたちを、どうぞあたたかく見守ってください。よろしくをお願いします。

その後、閉会となり、児童は教職員に引率されてコース別に一斉下校をしました。

河内小学校児童が、地域の皆様方に温かく見守られていることに、深く感謝をいたします。鯉のぼりや防犯のぼりに見守られて、5月29日の運動会をがんばりたいと思います。